

- ◆企画名 『写真で伝える世界、東北の今』
日 程 平成27年5月8日(金)
場 所 第1学舎A403
参加者数 86名(ピア・サポータ5名、研修生1名、一般学生80名)
目 的

アフリカやアジアを中心とする途上国で、フォトジャーナリストとして活躍されている安田菜津紀氏から、現場の生の声を聞くことで命、平和、国際協力の大切さを学んでもらうことを目的とした。

内 容

講師として、カンボジアを中心に、東南アジア、アフリカ、中東で貧困や難民の問題を取材するフォトジャーナリスト、安田菜津紀氏が登壇。安田氏に、フォトジャーナリストの仕事について、また自分自身の生い立ちや、フォトジャーナリストを志すようになった経緯を始め、現在取材を行っているカンボジアでのトラフィック・チルドレン(人身売買)について、陸前高田市を訪れた際に感じたこと、シリアにおける難民問題について写真を示しつつお話していただいた。

効 果

アンケートでの「今回の講演会の内容はどうでしたか」という質問に対し、9割の方が「非常に良かった」と回答している。残った1割の方も、「良かった」と回答している。また、アンケート回答者全員が「役に立った」「今後何らかのボランティアに参加したい」と回答している。

以上から、参加者にとって今回の講演が今後のことを考える良い機会になったのではないかと考える。

改 善 点

- ・職員さんとの連携を密にとる必要性について、自覚を欠くことがあった。
- ・来場者数の読みが甘く、配布資料が足りなくなり、一部の方に資料を渡すことができなかった。
- ・前日準備に来ることができる人数が2人しかいなかったため、大変だった。担当者を2人にするなど工夫する必要があると感じた。
- ・事前の打ち合わせがなかったため、講師の方と認識が異なる部分があった。今後はできる限り事前打ち合わせは行うべきだと感じた。
- ・今回は当初千里ホールを会場として予定していたが、参加者が思ったより集まらず、急遽A403に会場を変更した。このような場合もあるので、2つ会場を抑え、人数が集まれば大きいほうの会場を使うというように柔軟に対応できるようにしたいと思う。

感 想

参加者の心に何か届いた講演会になったと思う。質疑応答も活発に行われ、涙ぐみながら安田氏のお話しに耳を傾ける参加者も見受けられた。

また、今回の企画では他団体や教員、関西大学生協同組合など様々な方に協力していただいた企画となった。特に、KU コアラに協力していただき、総合図書館に特設コーナーを置いたことは、ピア・コミュニティ間の繋がりができるきっかけとなった。国際協力系サークルやボランティアサークル、写真部などもサークル内での広報等で協力して下さった団体が多かった。

今後も他団体や教員等学内のリソースを活かしつつ企画を行っていきたい。